

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公開番号】特開 2006-216388 (P2006-216388A)

【公開日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報 2006-032

【出願番号】特願 2005-28157 (P2005-28157)

【国際特許分類】

H 0 1 B 5/00 (2006.01)

H 0 1 B 1/22 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 5/00 C

H 0 1 B 5/00 G

H 0 1 B 1/22 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 15 日 (2007.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材微粒子の表面が導電性膜で被覆されており、前記導電性膜は表面に隆起した突起を有する導電性微粒子であって、

前記導電性膜の表面の隆起した突起は、軟質の金属粒子と硬質の非金属粒子とをそれぞれ芯物質とし、

軟質の金属粒子の平均粒子径は、硬質の非金属粒子の平均粒子径に対して、 $1.05 \sim 6$ 倍であり、軟質の金属粒子のビッカース硬度は $50 \sim 999$ であり、硬質の非金属粒子のビッカース硬度は $1000 \sim 3000$ であることを特徴とする導電性微粒子。